

MPE720 Ver.7.40 バージョンアップ情報

1. 機能追加・改善項目

1.1 Ver.7.40 バージョンアップ情報

MPE720 Ver.7.39 → Ver.7.40 の機能追加・改善項目は次の通りです。

No.	機能項目	分類
1	通信モジュールに 269IF-01 を追加しました。	新規追加
2	ラダー命令オートコンプリート機能を強化しました。	機能強化
3	モーションエディタのコンパイル処理を改善しました。	改善
4	通信のリトライ動作を改善しました。	改善
5	Expression 命令におけるコメント中の改行操作を改善しました。	改善
6	Expression 命令のレジスタコメント表示機能を改善しました。	改善
7	ロギング機能における保存確認メッセージの表示処理を改善しました。	改善
8	マルチディスプレイ使用時の転送画面表示処理を改善しました。	改善
9	モニタパラメータ起動時の単位表示を改善しました。	改善
10	ラダープログラムの表示を改善しました。	改善
11	SVC の詳細定義画面の文言を改善しました。	改善
12	S レジスタコメントの表示を改善しました。	改善

(※): Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合にMPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種(Σ-V-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。
操作手順については、次頁を参照ください。

【Windows 7、Windows Vista環境での使用方法について】

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、MPE720 Ver7を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

<原因>

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合に、MPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種(Σ V-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。

<対策>

以下の手順に従い、バッチファイルを実行することで以下フォルダを削除してください。(※1)

C:\Users\ユーザー名(※2)\AppData\Local\VirtualStore\Program Files(※3)\YASKAWA\MPE720 Ver7

手順

1. MPE720 Ver.7インストーラに同梱されているバッチファイルをデスクトップにコピーします。

【ダウンロード版の場合】

MPE720Ver7_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x64.bat (64ビット版OS用)

【DVD版の場合】

D(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x86.bat (32ビット版OS用)

D(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x64.bat (64ビット版OS用)

2. コピーしたバッチファイルを選択し、ダブルクリックで実行します。

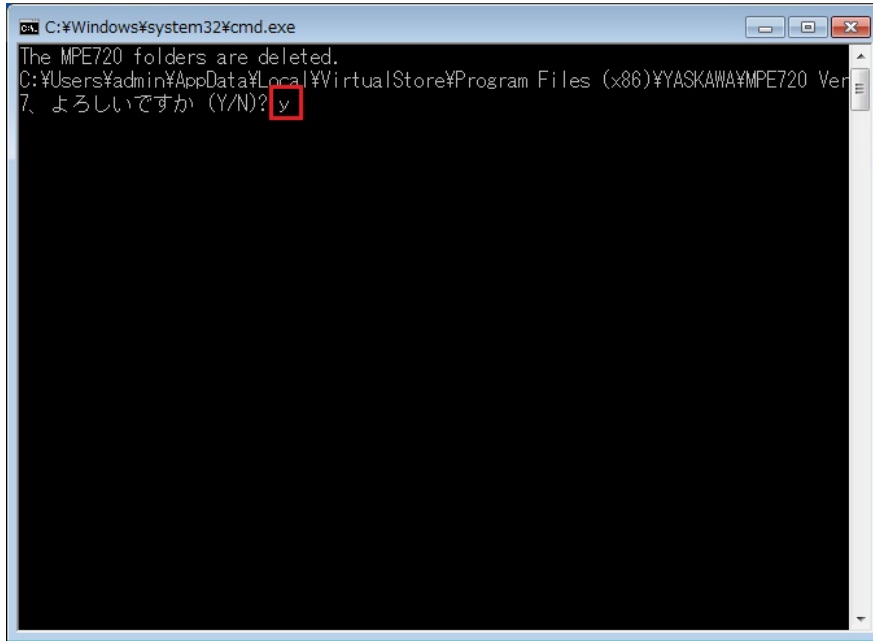
ご使用のOS環境により、実行するバッチファイルを選択してください。

MPE720Ver7_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7_x64.bat (64ビット版OS用)

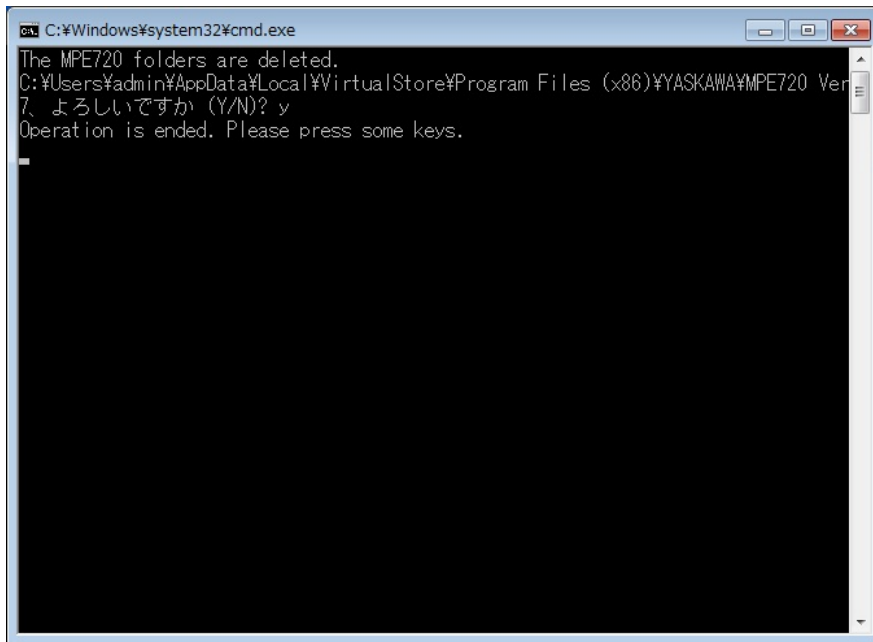


3. コマンドプロンプト上で「y」を入力し、Enterボタンを押下します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
The MPE720 folders are deleted.
C:\Users\admin\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\YASKAWA\MPE720 Ver
7、よろしいですか (Y/N)? y
```

4. 削除処理終了後、コマンドプロンプト上で、Enterボタンを押下します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
The MPE720 folders are deleted.
C:\Users\admin\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\YASKAWA\MPE720 Ver
7、よろしいですか (Y/N)? y
Operation is ended. Please press some keys.
_
```

(※1): 1台のPCをマルチユーザで使用している場合は、各ユーザ毎に本作業を実施してください。

(※2): ログインしているユーザアカウント名が入ります。

(※3): OS環境により下記のパス名になります。

32ビット版OS: Program Files

64ビット版OS: Program Files (x86)

(※4): インストールするバージョンによりパス名が変更されます。

(※5): DVDドライブ名が入ります。

(※6): MPE720 Ver.7インストール時、インストール先を変更した場合は、インストールしたパスに合わせて手動で以下フォルダ配下にある「MPE720 Ver7」フォルダを削除してください。

C:\Users¥ユーザ名(※2)\AppData\Local\VirtualStore

【並列回路のコンパイルについて】

MPE720 Ver7.23以前のMPE720 Ver7のラダープログラムにおいて、並列回路を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

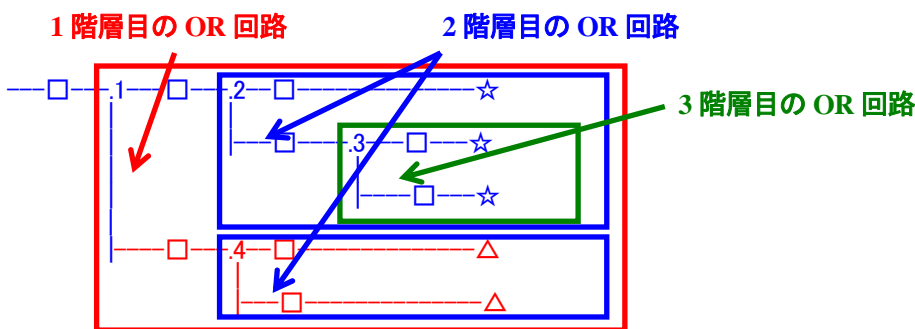
<現象>

下記のパターンを含む回路を作成した場合に、1階層目のOR回路の下側の回路が、本来、1階層目のOR回路の前にある条件命令を受けて、動作しなければならないところをその条件を受けずに動作してしまう現象がありました。

<対策>

現象が発生した場合は、MPE720 Ver7.24以降のMPE720 Ver7で、該当のラダープログラムについて、再コンパイルを実施してください。

または、「コンパイル」メニューの「プログラムの全コンパイル」を再度、実施してください。



- 1 階層目の OR 回路: ラングの母線から分岐された OR 回路
- 2 階層目の OR 回路: 1 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路
- 3 階層目の OR 回路: 2 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路

□(条件命令): A 接点、B 接点、比較(=、!、>、<) 命令など

※□(条件命令)には、パワー線(——)も含む

☆(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など

※ただし、☆が全てコイル命令の場合は、今回の現象は発生しません。

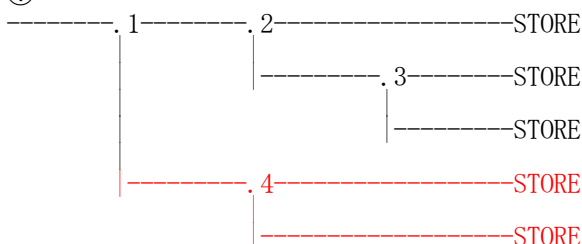
△(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など

【現象発生パターン】

記号	命令
┌┐	A 接点
STORE	STORE 命令
()	コイル

【NG パターン】

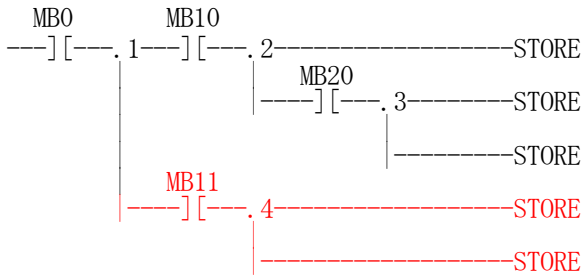
①



最小回路パターン

ここが NG となります

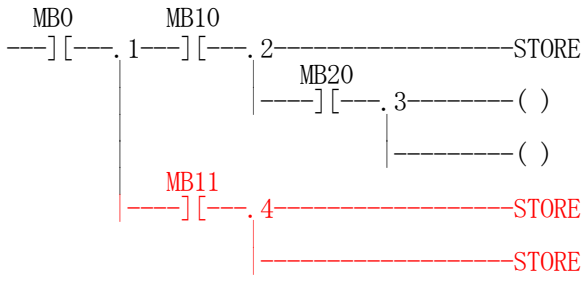
②



最小回路パターンに条件命令(A接点など)があっても NG

ここが NG となります

③

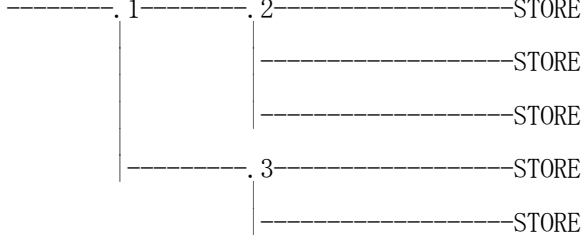


ここに1つでもブロック命令(STORE命令など)があると NG

ここが NG となります

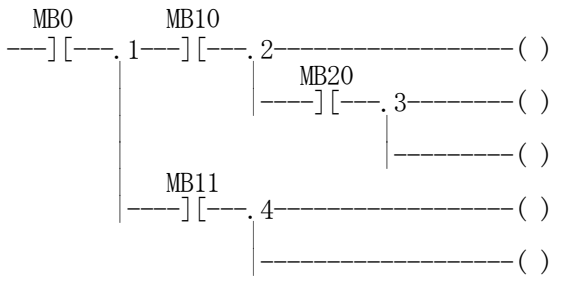
【OK パターン】

①



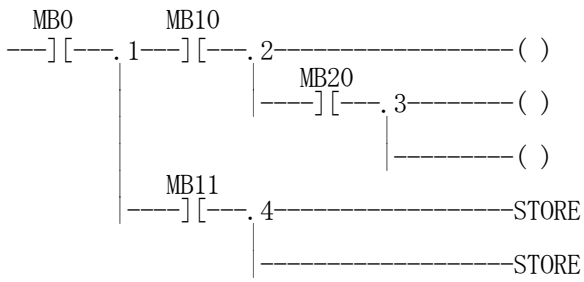
2 階層の OR 回路なので OK

②



すべてコイルなので OK

③



すべてコイルなので OK

1.2 過去のバージョンアップ情報

No.	バージョンアップ	備考
1	MPE720 Ver7.11 バージョンアップ情報	Ver7.10→Ver7.11
2	MPE720 Ver7.13 バージョンアップ情報	Ver7.11→Ver7.13
3	MPE720 Ver7.14 バージョンアップ情報	Ver7.13→Ver7.14
4	MPE720 Ver7.20 バージョンアップ情報	Ver7.14→Ver7.20
5	MPE720 Ver7.21 バージョンアップ情報	Ver7.20→Ver7.21
6	MPE720 Ver7.23 バージョンアップ情報	Ver7.21→Ver7.23
7	MPE720 Ver7.24 バージョンアップ情報	Ver7.23→Ver7.24
8	MPE720 Ver7.26 バージョンアップ情報	Ver7.24→Ver7.26
9	MPE720 Ver7.27 バージョンアップ情報	Ver7.26→Ver7.27
10	MPE720 Ver7.28 バージョンアップ情報	Ver7.27→Ver7.28
11	MPE720 Ver7.29 バージョンアップ情報	Ver7.28→Ver7.29
12	MPE720 Ver7.30 バージョンアップ情報	Ver7.29→Ver7.30
13	MPE720 Ver7.31 バージョンアップ情報	Ver7.30→Ver7.31
14	MPE720 Ver7.33 バージョンアップ情報	Ver7.31→Ver7.33
15	MPE720 Ver7.34 バージョンアップ情報	Ver7.33→Ver7.34
16	MPE720 Ver7.35 バージョンアップ情報	Ver7.34→Ver7.35
17	MPE720 Ver7.36 バージョンアップ情報	Ver7.35→Ver7.36
18	MPE720 Ver7.37 バージョンアップ情報	Ver7.36→Ver7.37
19	MPE720 Ver7.38 バージョンアップ情報	Ver7.37→Ver7.38
20	MPE720 Ver7.39 バージョンアップ情報	Ver7.38→Ver7.39

2. 修正内容詳細

No.1 通信モジュールに 269IF-01 を追加しました。

コントローラに割り付け可能な通信モジュールに 269IF-01 モジュール(CC-Link IE Field スレーブモジュール)を追加しました。



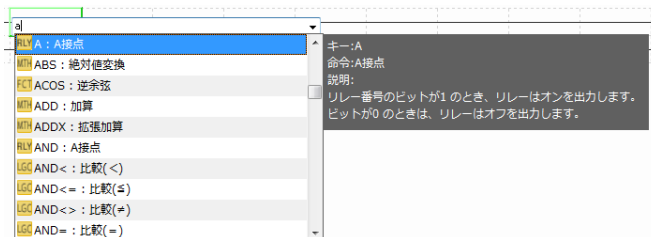
【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	Ver.1.32 以降
Σ-7C	今後対応予定
MP2000 シリーズ	Ver.3.02 以降

No.2 ラダー命令オートコンプリート機能を強化しました。

ラダー命令を入力する際に、各命令についての説明をポップアップ表示する機能を追加しました。



【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 3 モーションエディタのコンパイル処理を改善しました。

オンライン接続の状態、PFORK 又は SFORK 命令のラベルの直後に PFN 命令又は PFP 命令を記述するとコンパイルエラーが発生していましたので、コンパイルできるように改善しました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 4 通信のリトライ動作を改善しました。

環境設定の通信設定でリトライ回数を 1 以上に設定している状態で、通信エラーが発生すると、そのエラー内容に関わらず設定回数分のリトライ通信が行われていました。そのため、SEE 命令で呼び出されていないラダープログラムを開いた時に時間がかかる現象がありましたので、通信タイムアウトエラーが発生した場合のみリトライ通信を行うように改善しました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 5 Expression 命令におけるコメント中の改行操作を改善しました。

Expression 命令において、コメント部分で改行(エンター)キーを押した際に、セミコロンを付加していましたので、コメント中で改行を押したときは、「;(セミコロン)」を挿入しないように改善しました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 6 Expression 命令のレジスタコメント表示機能を改善しました。

Expression 命令のレジスタコメント表示機能において、IF~ELSE~IEND 命令の ELSE がレジスタコメントとして表示されていたので、ELSE をコメント対象外にしました。

```
EXPRESSION
if 'MB000000'==true
if MB000000==true;
'MB000001'=0
MB000001=0;
ELSE;
'MB000002'=0
MB000002=0;
IEND
```

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 7 ロギング機能における保存確認メッセージの表示処理を改善しました。

ロギング機能において、既にロギングの設定が行われた状態で、各設定画面(フォーマット設定、ファイル出力設定、ロギング対象設定、サンプリング&トリガ設定)を開き、各設定画面をOKボタンで閉じた場合に、設定を変更していない場合でも保存確認メッセージが表示される現象がありましたので、設定が変更されて、OK ボタンが押された場合のみ保存確認メッセージを表示するように改善しました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 8 マルチディスプレイ使用時の転送画面表示処理を改善しました。

マルチディスプレイを使用し、サブディスプレイをメインディスプレイの上に配置した状態で、MPE720 をサブディスプレイに表示し、転送機能を起動すると転送画面が縦長に間延びして表示される現象がありましたので、マルチディスプレイ使用時でも正常なサイズで転送画面が表示されるように改善しました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.9 モニタパラメータ起動時の単位表示を改善しました。

以下の機種において、モニタパラメータ起動時に、指令単位が「OWxx03 bit0-3:速度単位選択」の設定に従って表示されていませんでしたので、設定に従って表示されるように改善しました。

【該当機種】

- ・(M-II/M-III)Wild Card Servo
- ・(M-II/M-III)Wild Card Servo(Linear)
- ・(M-II/M-III)Wild Card SteppingMotorDRV

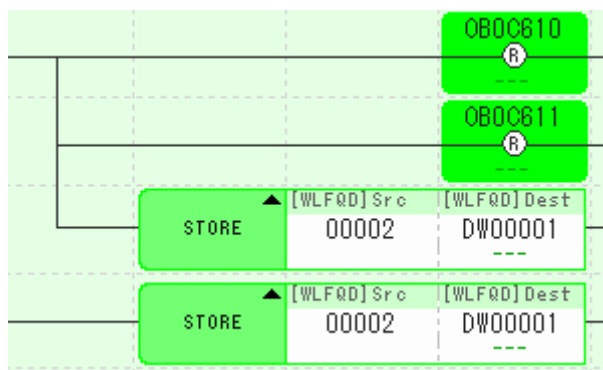
【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.10 ラダープログラムの表示を改善しました。

ラダーエディタにおいて、表記上、コイルや演算命令が重なって表示される現象がありましたので、ラダーエディタの描画処理を改善しました。



【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.11 SVC の詳細定義画面の文言を改善しました。

SVC の詳細定義画面に、接続方法(カスケード/スター)の違いによる接続可能局数や、コントローラ経由の SigmaWin 接続についての説明文が表記されていませんでしたので、「リトライ回数」、「接続局数」に関する説明文を追加しました。

スレーブ同期機能	無効
スレーブ検出待ち時間	0sec
【伝送周期/高速スキャン】 高速スキャンタイムを250usの整数倍、または整数分の1倍に設定してください。	
【リトライ回数】 SigmaWin+ をコントローラ経由で接続する場合、リトライ回数に1以上を設定してください。	
【接続局数】 <input type="radio"/> カスケード接続の場合: 1~7局 <input type="radio"/> スター接続の場合: 1~8局	

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.12 S レジスタコメントの表示を改善しました。

MP2000 シリーズのプロジェクトファイルにおいて、トレース 4 の S レジスタコメントが表示されていませんでしたので、表示するように改善しました。

【該当レジスタコメント】

SB000983:データトレース定義有無(グループ 4)

SB000993:データトレース実行ステータス(グループ 4)

SW00103:グループ 4 レコード番号

ウォッチ 1		
変数	値	コメント
SB000983	OFF	データトレース定義有無(グループ4)
SB000993	OFF	データトレース実行ステータス(グループ4)
SW00103	0	グループ4レコード番号

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。